

植田社長、なぜ

「さあ、街から未来をかえよう」
なんですか？

植田 「三井のすずちゃん、慣れましたか？」

広瀬 「はいもう7本ほど撮らせていたんで、毎回どこに行くんだろう、と楽しみにしています」

植田 「そうですね、それはよかったです」

広瀬 「さあ、街から未来をかえよう」という新しいコピーレートメッセージですが、どうしてこの言葉になったんですか？」

植田 「これは私たちの経営理念を凝縮したものとなっていて、よりよい未来に向けて様々な人々を巻き込みながら、一緒に街から未来を変えていきたい、という強い思いが込められています」

広瀬 「巻き込もうっていいですね」

植田 「ありがとうございます。4月1日に新しい経営理念を策定その中で、共生・共存・共創によって新たな価値をつくり出し、そのための挑戦を続けるということをグループDNAとして定義づけをしました。ロゴマークの『&』も新しくなり、この中にもDNAが込められています。モチーフの一つは着物の帯で、強さしなやかさを表し、三井グループが江戸時代、呉服屋から始まったことにも由来しています」

広瀬 「今までと印象も違いますし、さらに&のイメージが強くなった感じがして、オシャレだなと思いました」

植田 「当社のロゴマークは、ORではなくてAND。あれかこれかではなく、あれもこれも取り込んでいく柔軟な姿勢を表現しています」

広瀬 「だから『&』なんですね」

植田 「三井不動産グループがつくっているものは、建物や街と言っていることが多いのですが、実際にはその先にある形のないものだと思います。共に生きるための場やコミュニティをつくっていく、世の中のニーズに対応して新たな価値を生み出し続ける、いわば企画会社だと思います」

広瀬 「おもしろいです」

植田 「私たちは単に建物や街をつくる『不動産デベロッパー』ではなく、『産業デベロッパー』でありたいと思っています。私は『おせっかいな大家』とよく言うのですが、ただ不動産を貸すだけではなく、その街に集まる人々や企業のイノベーションや付加価値向上のお手伝いをおせっかいに行なって、私たちも共に成長していきたいと思っています」

植田 「私も東京ミッドタウンやMITSUBISHI FIDELITY PARKや日本橋を巡って、街づくりって幅広いんだな、と思いました」

植田 「今まで三井のすずちゃんとして行った場所で印象に残っているところはありますか？」

植田 「私はMITSUBISHI FIDELITY PARKとかは渋谷にあつて馴染みがあったのですが、日本橋はすごく勝手に大人の街だと思っていて、なかなか自分で行く機会もなかったんですけど三井本館やコレドなど私たちの世代も楽しめそうだなと思います」

植田 「広瀬さんは映画やドラマで見た人の心を動かすのがお仕事だと思いますが、私たちは街づくりを通してそこに集まる人々の心を動かしたい、と思っています」

広瀬 「お芝居とは全然違うものだと思っていましたけど、同じなんです、人の心を動かすのは大変ですけど、楽しいことですね」

植田 「人の心を動かす、という話で言いますと、スポーツの効果もとても大きいと思っています。スポーツは街の中に新たな絆を生み出し、コミュニティを活性化させる力があると思っています。スポーツはシナリオのないドラマと言えるかと思いますが、スポーツの持つ力というのは本当に無限大だと思います」

広瀬 「とてもそう思います」

植田 「当社グループには東京ドーム社がありますし、もちろん、千葉の南船橋にバスケットボールリーグの千葉ジェッツさんの本拠地でもある『Lalaland TOKYO』がオープンします。当社としても初めての本格的なアリーナですので、我々もワクワクしています」

植田 「私も小学校の時からずっとバスケットをやっていたので、このアリーナ、すごく楽しみです」

植田 「ぜひ広瀬さんにも、バスケットを見ていただくだけでなく、機会があればプレイしていただきたいなと思っています」

広瀬 「たいしたことはできないですけど、ぜひシュートしてみたいです」

植田 「スポーツと同様に、不動産の域を超えているという意味では、我々は日本橋を中心に、ライフサイエンスや宇宙ビジネス分野でイノベーションを起こすお手伝いをしています。日本橋は江戸時代から栄えた街だった歴史も踏まえ、日本橋を『ライフサイエンスの理地にしよう』と頑張ってきました。そして、その次に取り組むのが、宇宙です。JAXAさんの拠点の一つも、日本橋にあるんです」

広瀬 「新しいMのテーマですね」

植田 「新しいMでは『宇宙と三井不動産？ どういう関係だろう』と、びっくりされたと思います」

植田 「そうですね、最初に聞いた時は『宇宙？』って思ったんですけど、街づくりで宇宙産業を応援しているんですね」

植田 「宇宙ビジネスは、ロケットのエンジン開発から宇宙食まで、非常に裾野が広くて総合力が必要な産業なんです。これらを一つの場所に集めて、連携しながらプロジェクトを進めていくことは大きなメリットがあります。将来は火星の開発に我々の力が求められる時代もきっと来ると思います」

広瀬 「まさに『宇宙での街づくりがいよいよ始まるのです』ですね」

植田 「CMのあのセリフ、私も大好きです。宇宙やライフサイエンスを含めて、私たちのビジネスの舞台は広がり続けています。私は『妄想、構想、実現』という言葉が好きなんです。一人一人の突拍子もない妄想でも、そこに大義があれば仲間が集まってきてそれが構想になり、実現につながっていく。これが社会のイノベーションとなり、三井不動産グループの未来に欠かせない大きな力になると信じています」

植田 「誰かの妄想をみんなが実現するって素敵ですね」

植田 「さあ、街から未来をかえよう」

植田 「これからも、三井のすずちゃん、よろしくお願いします」

広瀬 「こちらこそ、よろしくお願ひします」

三井不動産グループがつくっているもの。

それは本当は、かたちのないものです。

たとえば、いろいろな考えの人と人が出会って混ざって、

この世界をより良くする創造が生まれる瞬間だったり。

今日という営みのなかで、ふと心が動く瞬間だったり。

共に生きるための場やコミュニティをつくっている。

そこに輪郭が生まれ、建物や街になっていく。

創業以来、進取の気性と人を想うアイデアで

道を拓いてきた私たちが誰よりも熱く持っている

妄想、構想、実現の精神をフルに使って、

輝かしい未来に向けて、人も自然も産業もつなぐ

「&」の存在でありつづけます。

さあ、 街から未来を かえよう

 **三井不動産**
MITSUI FUDOSAN

